

中国地域ニュービジネス奨励賞

表彰事業

骨盤と胸郭を整える姿勢矯正器「リアライン・コア」の展開

株式会社GLAB

代表取締役 がまだ かすよし
蒲田 和芳



受賞理由

平成24年に「ひろしま医療関連産業創出支援事業補助金」を活用し、姿勢矯正器「リアライン・コア」を開発（特許取得）、平成25年に発売している。コアを構成する骨盤と胸郭の歪みを整える（リアライン）運動補助具で、プロ野球選手をはじめ多くのトップアスリートが使用している。「リアライン・ソックス」は、履くテーピングというテーマで開発され、ベルト状に編み込まれた部分がテーピング効果を生み出し、靴下をはくだけで足関節周辺を適切な力で圧迫する。これらリアライン商品の主な販売方法は、医師や理学療法士、柔道整復師などの専門職を対象としたリアライン・デバイス認定セミナーで、商品の使用方法やリスク管理等の講習を行い、各商品についての「デバイス認定」を発行する。その後、認定者が全国各地でリアライン・デバイス体験会を開催してユーザー拡大を図る仕組みとなっている。SNSを通じた指導者ネットワークの口コミによっても拡散している。

ポイント

- ・ 大学発ベンチャーとしてスタートし、医工連携を有効活用した研究開発が行われている。
- ・ 有料セミナーによる医療従事者や運動指導者を介在した販売方法をとることによって、リスク管理ができ営業コストも低く抑えられている。
- ・ 将来的には腰痛診断など医療や介護領域での活用が見込める。

事業概要

（株）GLABは、「身体の歪みを科学する」をコンセプトに、誰が使用しても一定以上の高い再現性を発揮することを念頭においた商品を開発し販売を行っている。「リアライン・コア」は骨盤および胸郭の対称性を向上させつつ、その状態を持続するための筋活動を学習させるための運動補助具と位置付けられている。解剖学的に血管や神経を圧迫しない構造のため、既存の商品ではなし得なかったベルトの強い張力によって、安全に骨盤と胸郭を対称なアライメントに誘導することが可能となった。十分な圧迫下で約10分間、深呼吸や足踏み等の簡単な運動で、姿勢改善・脊椎の可動域向上等の効果を得ることができる。腰痛者において高い再現性で即時効果を得ることを可能としたことから、将来的には腰痛診断においても有用なツールとなる可能性がある。圧センサーを埋め込んだ測定機能付き「リアライン・コア」を開発し、整形外科領域において診断上不可欠な器具に位置付けることを目標としている。

推薦団体

広島県・公益財団法人ひろしま産業振興機構

会社所在地	〒739-2501 広島県東広島市黒瀬町宗近柳国889-1		
T E L	0823-36-2469	U R L	http://www.glabshop.com/
会社設立	平成20年6月(創業平成18年9月)	従業員数	2名(平成27年3月31日現在)
資本金	2百万円	売上高	127百万円(平成27年1月期)

ReaLine

コアの機能を革命的に変える運動補助具
歪んだ骨盤と胸郭を対称化

リアライン・コア

ReaLine CORE



開発者からのメッセージ

「骨盤のゆがみ」という言葉は広く使われていますが、意外にも骨盤のゆがみの研究はたいへん遅れています。病院でも骨盤のゆがみは正確に診断できない状況にあります。このリアライン・コアは、骨盤が対称に近づくことで腰痛や骨盤痛、股関節の運動に大きな変化が得られることを我々に教えてくれます。また、胸郭を左右対称に横方向に拡張させることで、背骨全体の動きが大きく改善します。人類の骨盤や背骨の健康に大きく貢献できる機器として、今後幅広く使われていくことを願っています。

広島国際大学教授
株式会社 GLAB 代表取締役
蒲田 和芳

スポーツ・リハビリ現場で
ご活用ください！

お試しレンタルについて
お問い合わせください。

株式会社 GLAB
Email: shop@g-lab.biz

◆リアライン・コアとは？

リアライン・コア (ReaLine CORE) は、コアを構成する骨盤と胸郭の歪みを整える (リアライン) ための運動補助具です。骨盤ユニットと胸郭ユニット (同一形状) をセットで使用します。

- ◆ 骨盤ユニットを装着して足踏み、歩行、スクワットなどを行うと徐々に骨盤が左右対称な状態に誘導されます。
- ◆ 胸郭ユニットを装着して深呼吸、後屈運動、回旋運動、上肢の運動などを行うと、徐々に胸郭の下部が左右対称に拡張できるようになります。

つまり、リアライン・コアを装着して運動を行うことで、歪みのない骨盤と胸郭を保った運動パターンを効果的に学習できるのです。

◆リアライン・コア開発の背景

骨盤と胸郭は体の中心 (コア) にあり、姿勢、脊椎の運動、腰痛などと深い関係があります。骨盤と胸郭に歪み (非対称性) が生じると脊椎の運動にも異常が生じます。そこで、理想のコアを作るうえで、

- ☑ 骨盤を対称で安定すること
- ☑ 胸郭の下部が左右対称に側方に拡張すること
- ☑ 骨盤と胸郭の対称性を維持する筋が効果的に働くこと

が必要となります。しかし、骨盤と胸郭の対称性を確実に獲得できる方法はこれまで存在しておらず、これらの対称性を獲得できる簡便な方法が必要とされていました。